《第１回AIセミナー》まだ間に合う。『観光DX格差』を見据え、いま動き出そう！

日時：2026/10/13（火）14:00～16:30 開催

開催場所：沖縄県豊見城市瀬長174番地6 ｜ 瀬長島ウミカジテラス48区画

No.	【質問】	【回答】
1	AIの環境構築（定期的な業務ルーチンの作成環境、AI社員的を作る環境)と、セキリュティについて、具体的な設定を知りたい。	一般的な生成AIサービスは特に環境構築をしていただかなくともすぐに利用可能です、業務の自動化やAIエージェントを作成する際も、それぞれの生成AIサービスの中にその環境がございます。またセキュリティに関しては、必ず有償版の生成AIサービスをご契約いただき、生成AIがお客様のデータを学習しない設定をしていただき、あとは個別の会社様の運用ルールにて個人情報や機密情報をどう取り扱うかのルール決めをしていただければと思います。
2	AIを活用した自社の情報の共有の仕方などあればお教えいただきたいです。 マイクロソフトであれば、シュアポイントを活用して、AIエージェントに常に社内情報を参照してアウトプットを求める場合のセキュリティ対応の取り方、社内ルール決めなどはどのように設計したら良いのか？ どうぞよろしくお願いします。	Microsoft Copilot の有償版であれば、自動的に Microsoft 365の情報（メール、チャット、予定、SharePoint、OneDrive）を参照して生成AIが動作しますので、なんら設定などは必要ありません、その際のセキュリティ設定も通常のMicrososft 365のセキュリティ設定、アクセス権に基づいて動作します。
3	普段の業務で少しずつAIを利用していたが、もっと活用できるシーンを具体的にイメージでき、良かった。ただ、AIに頼りすぎると自分の能力が落ちていきそうで心配な場面もある。AIを活用する上で意識していることがあれば伺いたい。	生成AIが出力した結果をそのまま鵜呑みにするのではなく、しっかりと理解し、自分の言葉で説明できるといいと思います、その際に分からないことがあれば生成AIに質問するといったことを繰り返し、理解を深めるといいと思います。
4	今回のセミナーでAI活用の可能性を強く感じる一方で、AI活用支援の現場では、最近の情報漏洩に関する報道などを受けて、導入や活用の意思決定が止まってしまうケースもあります。 また、現場担当者から「AIが怖い」という声を聞くこともあります。 観光事業者や地域の現場で、機密情報や個人情報の扱い、及び、著作権についてのルールを伝える際に、どのようにお伝えたら担当者が安心して一歩を踏み出しやすくなるのか、もし可能でしたら、今後さらに学べる機会があると嬉しいです。 今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。	生成AIサービスは有償版を使用し、取り扱う情報やデータを生成AIが学習しない設定をしておけば安全です、そしてその設定をした生成AIだけを組織が使うように徹底すれば大丈夫です。 また著作権に関しては生成AIサービスに課題があるのではなく、生成AIサービスに著作権に触れるような画像を描かせたりすることが課題です。 また、生成AIサービスに著作権上問題のない文や情報であるかを確認してもいいと思います。有償版のMicrosoft Copilotであれば、Copilotが生成した情報は著作権上問題ないことがMicrosoftによって保たれています。